

指定管理者の期末モニタリング

施設名	公設宮代福祉医療センター	年度	令和6年度
指定管理者	公益社団法人 地域医療振興協会	担当課	健康介護課
指定期間	令和4年4月1日 ~ 令和14年3月31日	期別	第4期
施設の目的	初期診療の拠点となる診療所に加え、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、通所リハビリテーション施設、居宅介護支援事業所、保育所の6つの機能を複合した施設で、地域における保健・医療・福祉を一体的に包括して、乳幼児から高齢者までが住み慣れた環境の中で、生きがいをもって暮らせる社会の実現を目指すことを目的とする。		
業務の内容	<p>(1) 診療所 初期診療の拠点として、休日夜間診療、在宅医療（往診・訪問看護）に対応する。</p> <p>(2) 介護老人保健施設 病院の入院治療を終えて病状が回復期・安定期にある要介護者を対象に、看護・介護・リハビリテーションに重点をおき、高齢者の在宅復帰を目指す。</p> <p>(3) 訪問看護ステーション 病院等の退院後、医師の指示に基づいて看護師等が家庭を訪問し、療養の世話や診療の補助などのサービスを提供する。</p> <p>(4) 通所リハビリテーション施設 日帰りで、要支援者、要介護者に対するリハビリテーション等を提供する。</p> <p>(5) 居宅介護支援事業所 介護保険サービスを受ける要介護者の在宅介護に関する相談や計画、連絡調整を総合的に引き受ける。</p> <p>(6) 保育所 医療施設や高齢者福祉施設との併設の機能を生かし、通常保育、障がい児保育や病後児への対応、世代間交流事業等により新しい形の保育サービスを提供する。</p>		

総合的な評価	
【総合評価】	A優良 B適正 13 C改善 1
<p>医療・福祉の包括的な施設としての役割を果たしており、センター運営は健全に行われている。</p> <p>令和6年度においても運営懇話会を年2回開催して利用者等の意見を聴いた。引き続き利用者等の方々の意見に耳を傾けた事業を展開し、町民ニーズに応えられるように努めていただきたい。</p>	
【評価事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・町の予防事業の一つである予防接種事業では重要な位置を占めている。 ・リハビリテーションスタッフの充実により、利用者から好評を得ている。 ・障がい者の就労支援事業の一環で、洗濯業務として働く環境を継続して提供している。 ・引き続き電気使用量の削減に努めている。 ・職員は様々な研修への参加や自己学習を行い、知識の習得や技術の向上に努めている。
【改善事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰により経営環境が厳しさを増しているため、更なる経営努力と工夫が求められる。 ・在宅医療に対する必要性が高まっており、休止中の訪問看護の再開が待たれる。 ・診療所利用者の高齢化・多様化に柔軟に対応した接遇力の向上を図っていただきたい。 ・医師の働き方改革による年間勤務時間上限設定後の休日及び夜間診療の対応については、慎重に配慮願いたい。

1. 施設の管理運営・事業	評価	C 改善
<p>令和6年度実績の年間外来患者数は 32,635人(対前年度比 1.0%減)、入院患者数は 1,633人(対前年度比 24.8%減)、入所利用者数は 26,388人(対前年度比 2.9%増)、通所リハビリ利用者数は 9,749人(対前年度比 6.9%減)であった。</p> <p>なお、入院患者数については大幅な減少となっており、今後入院患者数を増やすことができるように継続した働きかけを行うとともに、現在休止中の訪問看護については早期の再開を要望する。</p>		

2. 利用者の公平確保	評価	B 適正
診療所に利用制限はなく、介護老人保健施設は介護保険で定められた条件を満たせば利用可能であり、利用者の公平性は保たれている。また、利用料(診療・介護費の自己負担分)の徴収率もほぼ100%である。		
3. 職員の配置、研修等	評価	B 適正
育児休業や退職に伴い非常勤職員を採用し対応している。 職員は、地域医療振興協会における新人研修、主任者研修、管理者研修等に参加し能力向上に努めている。また、外部研修にも多く参加している。 職員の健康診断は、法令に則り適切に実施している。		
4. 施設の維持管理業務(清掃、植栽管理など)及び保守点検	評価	B 適正
施設の維持管理業務及び設備の保守点検業務は、専門業者へ委託し保全に努め、内容や結果等の詳細な記録を残し台帳で管理している。また、医療設備・器具は専門業者による定期点検を実施し、精度の維持と保守管理を適切に行っている。		
5. 施設の修繕	評価	B 適正
医療機器・施設の修繕は適宜行っている。 令和6年度は、電子交換機更新工事、エレベーター機能維持工事等を町が実施した。		
6. 備品管理	評価	B 適正
備品にはシールを貼り台帳で管理している。パソコン、プリンター、施設内携帯電話(PHS)等の備品は必要に応じ増設や更新を行っており台帳で管理している。		
7. 安全・危機管理	評価	B 適正
防火管理者は、消防法に基づく消防計画を作成し年2回消防訓練を実施している。その内1回は夜間を想定した訓練としている。また、防災マニュアルを完備し、緊急時にはセンター長が緊急招集し指揮命令を行う組織図を作成している。町への連絡は保健センターに行くこととしている。		
8. 個人情報の管理	評価	B 適正
個人情報保護法に基づきセンター内の個人情報書類は管理庫に施錠して保管し、電子カルテ内の個人情報も施錠したサーバ室で管理している。その他、パソコンの使用に関してもパスワードで管理するなど情報管理を徹底している。		
9. 利用者ニーズの把握・反映	評価	B 適正
毎年2回開催している運営懇話会では利用者の意見を聴取し意見を反映できるようにしているが、特に意見や要望はなかった。定期の予防接種については予約なしで接種できる体制をとり、インフルエンザ予防接種についてはウェブでの予約ができる等利用者の利便性を考慮した体制を取っている。		
10. 自主事業の実施	評価	B 適正
介護老人保健施設では、季節ごとのイベント、遠足、外食会等利用者の皆さんが1年間を通して季節感を味わい、楽しんでいただけるような行事を毎年数多く実施している。		
11. 経費節減	評価	B 適正
昨今の電力供給事情を鑑みて、職員は徹底して電力使用量の削減に努めている。その他にも消耗品の節約にも心掛けている。		
12. 環境への配慮	評価	B 適正
雨水を地下に貯留し菜園や車両洗浄に利用している。また、暑い日には散水にも利用している。さらにセンター内では節水に努めている。		
13. 利用者への情報提供	評価	B 適正
六花の案内リーフレットでセンターの各事業のお知らせをしている。その他、介護老人保健施設の入所及び通所リハビリの利用希望者に対して、高齢者でも分かりやすい案内書にて丁寧な説明を心掛けている。 さらにホームページからも最新の情報発信に努めている。		
14. 会計管理	評価	B 適正
公益法人としての会計基準に則り適正な会計を行っている。会計法人による毎月の監査や監査法人による年度末の監査を受け、法人全体として会計管理は厳しく行っている。		